

1 一般会計決算



市の会計の中心をなす一般会計の決算収支は、歳入が208億1,025万円、歳出が205億6,478万円で、歳入・歳出の差引き額から翌年度に繰り越すこととなった財源を差引きした実質収支は2億3,416万円となりました。

歳入決算は、前年度と比べ2.2%の増加となりました。主な特徴として、地方交付税が7.6%の減、国庫支出金が5.0%の減となる一方、過去に発行した市債の借り換えに係る借換債の増に伴い市債が32.4%の増となっています。

市税など市が自身で収入することができる財源（自主財源）の歳入全体に占める割合は、前年度比0.6ポイント減少して51.6%となっています。多様な行政サービスを提供していくうえで、この割合が高いほどより自主的かつ安定した事業を展開することができます。

歳入総額

208億1,025万円

自主財源 **107億5,211万円** (51.6%)
 依存財源 **100億5,814万円** (48.4%)

市税の内訳

総額 **86億8,821万円**

